令和６年度　年間授業計画

第２学年

橘高等学校定時制　令和６年度　教科 国語　科目 言語文化　年間授業計画

教　　科　：　国語　　科目：言語文化　単位数：　　２単位

対象学年組　：　第２学年　１組

教科担当者名：　（　　）

使用教科書　：　（新編言語文化　大修館書店）

使用教材　　：　（自作ワークシート）

科目　言語文化　の目標：現代文、古文、漢文の三領域を通して文学作品を鑑賞する能力を育む。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
主体的・対話的で深い学びをとおして、実社会に必要な国語の知識や技能を伸長する。	論理的に考える力、他者に共感する力、想像する力を伸ばし、言葉で伝えあう力を伸ばす。	現代社会における多様な話題・題材に対して興味を持ち、言語活動を通して、主体的に学習する態度を伸長する。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
１学期	○現代小説に親しみ、小説を読む楽しさを味わう。 ○筆者の主張をとらえ、言葉が果たしている役割や日本語の特色について理解する。	ことばと出会う、表現を味わう。 ○鏡 ○季節の言葉と出会う	【知】言葉の特徴や使い方、我が国の言語文化について理解を深める。 【思】文章の叙述にもとづいて、要旨や要点を把握している。 【態】自主的に文章の読解に前向きに取り組もうとしている。	○	○	○	２４
２学期	○内容・構成・展開などを叙述に即して的確にとらえる。 ○言語文化に関わり深い題材を決め、表現を工夫して書く。	古文に親しむ、随筆を楽しむ。 ○児のそら寝 ○春はあけぼの	【知】言葉の特徴や使い方、我が国の言語文化について理解を深める。 【思】作品の背景や、他作品との関係をふまえ、理解を深める。 【態】表現を正しく理解し、意欲的に学習に取り組む。	○	○	○	２８
３学期	○漢文訓読の方法を理解し、漢文に親しむ。 ○故事成語について知り、その背景となるエピソードに触れる。	漢文に親しむ。 ○訓読のきまり。 ○格言。 ○故事成語。	【知】漢文の訓読法に注意して漢文を読み、書き下し文を作成する。 【思】書き下し文をもとにして、内容を理解し、我が国の言語文化への理解を深める。 【態】意欲的に学習に取り組む。	○	○	○	１８
			配　当　合　計　時　間				７０

橘高等学校定時制　令和６年度　教科 数学　科目 数学Ⅰ　年間授業計画

教　　科　：　数学　　科目：数学Ⅰ　　単位数：　　２単位

対象学年組　：　第２学年　１組

科担当者名　：　（　　、　　）

使用教科書　：　（　東京書籍　新数学Ⅰ　　）

使 用 教 材　：　（　なし　　）

科目　数学Ⅰ　の目標：数学的な見方・考え方を働かせ数学的に考える資質・能力の育成を目指す

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数の計算、数と式、二次関数、三角関数等、基本的な概念や、原理・原則を体系的に理解するとともに、事象を数式化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする能力を身に付けるようにする。	命題の条件や結論に着目し、数や式を多方面に見たり、目的に応じ適切に変形したりする力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその事象を、表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力等を養う。	数学の良さを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	・１年時に学習した単元の確認 ・2 次関数を変形し、2 次関数のグラフが描ける。 ・２次関数のグラフが描け、最大値・最小値が求められる。 ・2 次関数のグラフと x 軸との共有点を 2 次方程式を解くことによって求められる。	１学年の復習 ２次関数 ２章　２次関数 ２節　２次関数の値の変化	【知】中学校までに学習する整数の四則演算ができる。 【知】２次の乗法公式や、因数分解の公式を適切に用いて計算をすることができる。 【思】問題を解決する際に、すでに学習した計算方法と関連付けて、式を多面的に捉えたり、目的に応じて適切に変形したりすることができる。 【態】興味関心をもち、他者の考え方を理解しようとしている「	○ ○ ○	 ○ ○	 ○ ○	15 10
2学期	・三角比の表の利用の仕方を学習し，三角比の表を活用して三角比の値を求めることができる。 ・三角比の定義が理解できる 三角比の相互関係について理解し,1 つの三角比の値から他の 2 つの三角比の値を求めることができる。 ・与えられた辺の長さと角の大きさから，三角形の面積を求めることができる	３章　三角比 １節　鋭角の三角比 定義 相互関係 第２節　三角比の応用 三角形の面積公式、正弦定理、余弦定理	【知】三角比の意味や性質について理解するとともに、三角比の値を求めることができる。 【思】1 つの三角比の値から他の 2 つの三角比の値を求める方法を考察することができる。 【態】問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	○ ○	○ ○	○	12 13
3学期	・命題の真偽と反例を考えることができる。また，必要条件，十分条件，必要十分条件の意味を知り，さらに図表示による包含関係と関連づけて理解する。 ・命題の逆，対偶について理解し，対偶を利用した証明法や背理法による証明法を学び，論理的な思考力を養う。	４章　集合と論証 １節　集合と論証 ２　命題と集合 ３　命題と証明	【知】必要条件，十分条件，必要十分条件の意味を知り，さらに図表示による包含関係と関連づけて理解する。 【思】命題の逆，対偶について理解し，対偶を利用した証明法や背理法による証明法を学び，論理的な思考力を養う。 【態】問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	○	○	○	20
			配　当　合　計　時　間				70

橘高等学校定時制　令和６度　教科 理科　科目 科学と人間生活　年間授業計画

教　　科　：　理科　　科目：科学と人間生活　　単位数：　２単位

対象学年組　：　第２学年　１組

教科担当者　：　（　　）

使用教科書　：　（　科学と人間生活　東京書籍　）

使用教材　　：　（自作プリント　　）

科目科学と人間生活　の目標：自ら問題を見出し科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本操作を身に付ける。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	問題を見いだし見通しをもって、観察，実験などを行い人間生活と関連付けて，科学的に考察し表現している。	各単元において、見通しをもったり振り返ったりするなど，積極的に観察・実験を行おうとして、科学的に探究しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	科学とは何か 科学技術が生活に役立っていること知る 微生物の観察を体験する 生態系のなかでの微生物の役割を知る 微生物を用いた環境の浄化を知る 発酵と腐敗の違いを理解する 光の受容と視覚の成立を理解する ヒトの眼球の構造を理解する	1編 序章　科学技術の発展 １章　微生物とその利用 ・様々な微生物 ・私たちのくらしへの微生物の影響 ２章　ヒトの視覚と光による影響 ・視覚とは何か ・目の構造とは たらき	【知】関連する項目における表が読める。実験操作を積極的に行える。 【思】科学技術の役割について，微生物とその利用・身の回りの微生物について表現できる。 【態】科学技術の役割に関心をもち、微生物とその利用・身の回りの微生物について考えられる。 【知】身のまわりにはさまざまな種類の発酵食品があり，それらには酵母，カビ，細菌などの微生物が関わっていることを理解している。 【知】ヒトの視覚が生じる仕組みについて理解している。 【知】眼の構造，遠近や明るさによる眼のはたらきの調節，体内時計について理解している。	○	○	○	２４
2学期	環境問題を知る ３R（４R）とは何か、 鉄・アルミ・銅の性質の違い マイクロプラスチック問題を考えられる 光の進み方を理解する 光は波の性質をもっていることを理解する 水波による干渉と回折を理解する 光の分析手法（スペクトル）を体験する	2編 1章　材料とその再利用 ・リサイクル ・金属の性質と役割 ・プラスチックの性質 3編 1章　光の性質とその利用 ・光の進み方と基本的な性質 ・目に見える光と色の見え方 ・目に見えない光とその応用	【知】学んだことを利用したり、3R やそれぞれの利点について理解している 【思】 材料ついて問題を見出し，見通しを もって実験・観察などを行い，科学的に考察し たり分析し，それを表現することができる。 【態】学んだことや生活経験を生かして，３R を実践しようとする 【知】光の性質の基本的な概念や原理・法則などを日常生活と関連付けて理解できる。 【思】光の性質を生活と関連付けて，科学的に考察し表現できる。 【態】光の性質の観察・実験を主体的に行い、振り返りするなど，科学的に探究しようとしている。	○	○	○	２９
3学期	熱とは何か 熱と温度の違いを理解する 熱容量と比熱を理解する 熱の伝わり方 暴風雨による災害 地震による災害 火山による災害 ハザードマップの見方	3編 2章　熱の性質とその利用 ・熱とはなにか ・エネルギーの利用と私たちのくらし 4編 2章　自然災害と防災 ・身近な自然現象の成り立ち ・自然災害と防災	【知】熱の性質の基本的な概念や原理・法則などを日常生活と関連付けて理解できる。 【思】熱の性質を生活と関連付けて，科学的に考察し表現できる。 【態】熱の性質の観察・実験を主体的に行い、振り返りするなど，科学的に探究しようとしている。 【思】モデル実験の結果を基に考察し、実際に起こる現象と関連付けて表現している。 【態】学んだことを生かして，地震による被害を少なくするためにできることを具体的に考えようとしている。 【知】ハザードマップや地形図などの資料を調べられる	○	○	○	１７
			配　当　合　計　時　間				70

備考：履修基準では、各編からどちらかの章を扱えばよいことになっているが、時勢にあわせた年間授業計画にしている

橘高等学校定時制　令和６年度　教科 保健体育　科目 体育　年間授業計画

教　　科　：　保健体育　　科目：体育　　単位数：　　２単位

対象学年組　：　第２学年　１組

教科担当者名：　（　　、　　）

使用教科書　：　（　現代高等保健体育　大修館書店　）

使用教材　　：　（　自作プリント　　）

科目　体育　の目標：生涯にわたって心身の健康の保持増進を目指し、豊かなスポーツライフを送れる資質と能力を養う。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わい、生涯にわたって運動を継続できるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解しているとともに、それらの技能を身につけている。	・生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	・生涯にわたって継続して運動に親しむため、運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にするとともに、健康・安全を確保している。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
１学期	・柔軟運動、体幹トレーニングを行い、柔軟性向上・体幹を強化する（体つくり運動）。 ・自分のペアや相手のペアの特徴に応じた作戦をたて、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、各種ストローク、サーブなどの安定したボールの操作や、ダブルスにおけるパートナーとの連携した動きを高めて、ゲームを展開できるようにする（卓球）。	・体つくり運動 ・卓球 ・体力テスト測定	【知】自己の狙いに応じ効果的な成果を得るための適切な運動の行い方があることについて、言ったり書いたりしている。 ・自分のペアや相手のペアの特徴に応じた作戦をたてることができる（卓球）。 【思】体力の程度や性別等の違いを超えて、仲間とともに運動を楽しむための調整の仕方を見つけている。 【態】危険の予測をしながら、回避行動をとるなど、健康・安全を確保している。	○	○	○	１ １９ ６
２学期	・卓球は上記と同様。 ・自チームや相手チームの特徴に応じた作戦を立て、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、状況に応じたパスやトス、アタックなどのボール操作と攻守などのチームメイトと連携した動きを高め、ゲームを展開できるようにする（バレーボール）。	・卓球　シングルス及びダブルス ・バレーボール	【知】自己の狙いに応じ効果的な成果を得るための適切な運動の行い方があることについて、言ったり書いたりしている。 ・ボールを相手コートの空いている場所に打ち返すことができる（バレーボール）。 【思】体力の程度や性別等の違いを超えて、仲間とともに運動を楽しむための調整の仕方を見つけている。 【態】危険の予測をしながら、回避行動をとるなど、健康・安全を確保している。	○	○	○	６ ２４
３学期	・運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方について、理解することができるようにする（体育理論）。 ・体を動かす楽しさや心地よさを味わい、健康の保持増進や体力の向上を図る（体つくり運動）。	・体育理論 ・体つくり運動	【知】体力の構成要素は、健康に生活するための体力と運動を行うための体力に密接に関係していることについて、言ったり書きだしたりしている。 ・なわとびの技を３種類以上跳ぶことができる（なわとび）。 【思】体力の程度や性別等の違いを超えて、仲間とともに体つくり運動を楽しむための調整の仕方を身につけている。 【態】体つくり運動の学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	７ ７
			配　当　合　計　時　間				７０

橘高等学校定時制　令和６年度　教科 保健体育　科目 保健　年間授業計画

教　　科　：　保健体育　　科目：保健　　単位数：　　１単位

対象学年組　：　第２学年　１組

教科担当者名：　（　　）

使用教科書　：　（　現代高等保健体育　大修館書店　）

使用教材　　：　（　パワーポイント　プリント　　）

科目　保健　の目標：現代の健康問題や、新しい時代の健康の考え方について理解する。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身につけるようにする。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じ他者に伝える力を養う。	生涯を通じて自他の健康の保持増進や、それを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
１学期	・事故の実態と被害の実態について説明できる。 ・安全のために必要な個人の行動について例をあげられる。 ・交通事故における責任を３つに分けて説明できる。 ・応急手当の意義について説明できる。 ・実際に日常的なけがや熱中症の応急手当ができる。 ・実際に心肺蘇生を行うことができる。 ・１学期の授業内容を６割程度理解できている。	・事故の現状と発生要因 ・安全な社会の形成 ・交通における安全 ・応急手当の意義とその基本 ・日常的な応急手当 ・心肺蘇生法 ・期末考査	【知】各項目の内容に関して理解したことを言ったり書いたりしている。 【思】各項目について自他や社会の課題を発見したり、プリントに考えをまとめている。 【態】各項目において、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	2 2 2 2 2 2 1
２学期	・ライフステージと健康の関連について説明できる。 ・思春期における体の変化を女性と男性に分けて説明できる。 ・性意識の男女差について例をあげて説明できる。 ・妊娠・出産の過程における健康課題について説明できる。 ・人工妊娠中絶が心身におよぼす影響について説明できる。 ・結婚生活を健康的に送るために必要な考え方をあげることができる 加齢に伴う心身の変化について例をあげて説明できる。 ・２学期の授業内容を６割程度理解できている。	・ライフステージと健康 ・思春期と健康 ・性意識と性行動の選択 ・妊娠・出産と健康 ・避妊法と人工妊娠中絶 ・結婚生活と健康 ・中高年期と健康 ・期末考査	【知】各項目の内容に関して理解したことを言ったり書いたりしている。 【思】各項目について自他や社会の課題を発見したり、プリントに考えをまとめている。 【態】各項目において、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	1 2 2 3 3 2 1 1
３学期	・働くことの意義と健康とのかかわりについて説明できる。 労働災害の種類とその原因について例をあげて説明できる。 ・職場が行う健康に関する取り組みについて例をあげて説明できる。 ・３学期の授業内容を６割程度理解できている。	・働くことと健康 ・労働災害と健康 ・健康的な職業生活 ・期末考査	【知】各項目の内容に関して理解したことを言ったり書いたりしている。 【思】各項目について自他や社会の課題を発見したり、プリントに考えをまとめている。 【態】各項目において、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	2 2 2 1
			配　当　合　計　時　間				３５

橘高等学校定時制　令和６年度　教科 外国語科　科目 英語コミュニケーションⅠ　年間授業計画

教　　科　：　英語　　科目：英語コミュニケーションⅠ　　単位数：２単位

対象学年組　：　第２学年　１組

教科担当者名：　（　　・　　）

使用教科書　：　（ Amity English Communication 1 ）

使用教材　　：　（　　なし　　）

科目　英語コミュニケーションⅠ　の目標：英語の基礎知識を復習し、中学英語の定着と高校英語への発展を目指す

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
英語の基礎知識を身に着ける。 英語の検定にチャレンジする	知識を活用しながら自分を表現する力を身に着けている。	主体的に学習に取り組もうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
１学期	比較 現在完了	好きな教科や描かれたイラストについてやり取りしたり，学科やクラブについてまとめて発表したりする。	【知】比較表現・現在完了を理解し，概要や要点を捉える技能を身に付けている。 【思】比較表現・現在完了を用いて，学校での生活について，考えや気持ちを話して伝えている。 【態】比較表現・現在完了を用いて，学校での生活について，考えや気持ちを話して伝えようとしている。	○	○	○	４ １２ １１
２学期	現在完了 受動態 分詞の形容詞的用法	相手の生活面や経験などについてやり取りしたり，セレンディピティについてまとめて発表したりする。 服装や平和のシンボルについてやり取りしたり，大切なものについてまとめて発表したりする。	【知】現在完了や受動態を理解し，概要や要点を捉える技能を身に付けている。 【思】現在完了や受動態を用いて，セレンディピティについて，考えや気持ちを話して伝えている。 【態】現在完了や受動態を用いて，セレンディピティについて，考えや気持ちを話して伝えようとしている。	○	○	○	１３ １３
３学期	関係代名詞	好きな飲み物や平和に寄与した有名人，将来の夢などについてやり取りしたり，水分の摂り方についてまとめて発表したりする。	【知】関係代名詞を理解し，概要や要点を捉える技能を身に付けている。 【思】関係代名詞を用いて，好きな動物について，健康に関することや空いた時間について、考えや気持ちを話して伝えている。 【態】関係代名詞を用いて，好きな動物について，健康に関することや空いた時間について、考えや気持ちを話して伝えようとしている。	○	○	○	９ １０
			配　当　合　計　時　間				７０

橘高等学校定時制　令和６年度 教科 家庭 科目 家庭基礎　年間授業計画

教　　科　：　家庭　科目：家庭基礎　　単位数：　　２単位

対象学年組　：　第２学年　１組

教科担当者名：　（　　）

使用教科書　：　（　　図説家庭基礎（実教出版）　　）

使用教材　　：　（　　なし　　）

科目　家庭基礎　の目標：・家族や生活の営みを人の一生とのかかわりの中でとらえ，家族や家庭生活のありかた，子どもと高齢者の生活と福祉，生活の自立のための衣食住や消費生活・環境などの基礎的な知識・技術を身につける。

・生活課題を主体的に解決し，生活の充実向上をはかる力と実践的な態度を身につける。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え，家族･家庭の意義，家族･家庭と社会との関わりについて理解を深め，生活を主体的に営むために必要な家族･家庭，衣食住，消費や環境などについて理解しているとともに，それらにかかわる技能を身につけている。	生涯を見通して，家庭や地域及び社会における生活の　中から問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価･改善し，考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけている。	さまざまな人々と協働し，よりよい社会の構築に向けて，課題の解決に主体的に取り組んだり，振り返って改善したりして，地域社会に参画しようとするとともに，自分や家庭，地域の生活を創造し，実践しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
１学期	健康や安全面から住居管理の大切さを考え理解する 簡単な住居の設計から快適な住居を考え理解する 家族の関係性や多様性、法律を理解する こどもの成長と親の役割、社会との関係を考え理解する	住生活をつくる 健康で安全な住生活 住空間の成り立ちと平面計画 家族、子ども 家族をとりまくことがら、法律 こどもの心身の発達 こどもがすこやかに育つ環境	【知】基礎的な知識が身に付き理解が深まっているか（考査、製作物） 【思】自分の考えをまとめ表現できるか （リポートの提出、平常授業での発言） 【学】興味を持ち意欲的に学習に取り組んでいるか （出席状況、授業態度、発言）	○	○	○	２４
２学期	栄養に関する基礎知識を習得し自分の健康に結びつける 世界的な食料の現状を理解し持続可能な食生活を考える 簡単な食事づくりを学ぶ 成年になることの意味を理解し必要な知識を得る 成年になることの責任を自覚する 家計から社会の一員になることを考える	食生活をつくる 食生活と健康 食品の選択と表示 食を取り巻く問題 調理実習 消費者を考える 18 才成年と消費行動 家計の管理 循環型社会の構築	【知】基礎的な知識が身に付き理解が深まっているか（考査、製作物） 【思】自分の考えをまとめ表現できるか （リポートの提出、平常授業での発言） 【学】興味を持ち意欲的に学習に取り組んでいるか （出席状況、授業態度、発言）	○	○	○	２８
３学期	衣服を大切に扱うための知識を得て実践できる 基礎縫い技術を使った作品をつくり技能の向上をめざす	衣生活を作る 衣服の機能と衣服の手入れ 被服製作実習	【知】基礎的な知識が身に付き理解が深まっているか（考査、製作物） 【思】自分の考えをまとめ表現できるか （リポートの提出、平常授業での発言） 【学】興味を持ち意欲的に学習に取り組んでいるか （出席状況、授業態度、発言）	○	○	○	１８
			配　当　合　計　時　間				７０

橘高等学校定時制 令和６年度 教科 産業　科目 産業実習 年間授業計画

教　　科　：　産業　　科目：産業実習　　単位数：　　３単位

対象学年組　：　第２学年　１組

教科担当者名：　（　　、　　）

使用教科書　：　（　なし、　補助プリント使用　）

使用教材　　：　（　溶接機器、製図機、ＣＡＤ、折り紙等　）

科目　産業実習の目標　：　作業について興味・関心を持ち、発言や手順を考え、他者と協働して取り組めること。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
各作業の準備、片付けや基本的な知識・技術の習得をするとともに、各種操作方法等の理解を深め、最後まで諦めずに作品を製作できる力を身に付ける。	各作業の作品製作にともなう説明を的確に把握し、考察を深めるとともに、産業技術基礎に関する知識と技術を活用しながら表現する力を身に付けている。	各作業で作品製作に興味・関心を持ち、産業技術基礎の意義や役割の理解および諸問題の解決を目指して主体的に学習に取り組もうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	・アーク溶接 機器の準備、片付 基本操作 アーク発生法	(溶接) ・基礎、実技、法令、災害防止等の習得	【知】作業に対して発言やノートをとり、理解を深めようとしている。 【思】手順通りに製作しようとしている。またはより良い方法を考察しようとしている。 【学】興味・関心を持ち、他者を理解し、協働して取り組もうとしている。	○	○	○	35
2学期	・基礎製図 製図道具の準備、片付 ドラフター 線種 文字・記号・数字 三角法	(製図) ・線種基礎、文字、数字、記号等の習得 （CAD) 製図、ＣＡＤ操作の習得	【知】作業に対して発言やノートをとり、理解を深めようとしている。 【思】手順通りに製作しようとしている。またはより良い方法を考察しようとしている。 【学】興味・関心を持ち、他者を理解し、協働して取り組もうとしている。	○	○	○	35
3学期	・CAD PC の準備、保存場所 線種 三角法 ・デザイン ユニット折り紙 パーツ作り 組み立て 24 面体の製作	（デザイン） ・寒暖色、グラデーション、反対色等の習得 ユニット折り紙 くす玉	【知】作業に対して発言やノートをとり、理解を深めようとしている。 【思】手順通りに製作しようとしている。またはより良い方法を考察しようとしている。 【学】興味・関心を持ち、他者を理解し、協働して取り組もうとしている。	○	○	○	35
			配　当　合　計　時　間				105

・2 班によるローテーションで実施する。

橘高等学校定時制　令和６年度　教科　産業　科目　ビジネス会計　年間授業計画

教　　科：　産業　　科目：ビジネス会計　単位数：３単位

対象学年組：　第２学年　１組

教科担当者名：　（　　、　　、　　）

使用教科書：　（簿記　東京法令出版　　）

使用教材：　（自己作成プリント　　）

目　　標：商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動をおこなうことなどを通して、取引の記録と財務諸表の作成に必要な資質・能力を育成する。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・経済活動と取引、簿記の原理について理解するとともに、関連する技術を身につけている。	・適確に判断し諸帳簿に記帳することができている。 ・簿記の目的である財政状態と経営成績を明らかにすることなどについて、知識を活用しながら理解する力を身につけている。	・主体的に学習に取り組もうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
１学期	簿記の意味や目的を理解し、要点をとらえる技能を身につけさせる。 取引を適切に記帳できる力を身につけさせる。 決算に関する基礎的な知識や、一連の決算の流れについて理解させる。	簿記の必要性について理解させる。 基本的な取引の仕訳ができるようにする。 総勘定元帳・補助簿への転記、記入をできるようにする。 決算の仕組みを理解させ精算表まで記帳できるようにする。	【知】基礎的な知識を身に付け、簿記を学ぶことの必要性や重要性について理解している。 【思】取引の仕訳から勘定の記入を経て決算に至る簿記一巡の手続の基本的な流れについて理解し記帳している。 【態】簿記の必要性や重要性を理解したうえで、簿記の学習に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	○	○	○	６ １８ １６
２学期	以下の取引の種類とそのしくみを理解し、適切に記帳できる力を身に付けさせる。 手形、その他の債権・債務、有価証券、固定資産　他 ８桁精算表について理解し記帳できる力を身につけさせる。	生徒各自に模擬手形、小切手の記入と発行を体験させることにより、学習を深めさせる。 決算整理事項を理解し、繰り返し学習により仕訳が適切に出来るようにする。 上記をもとに、８桁精算表に記帳し完成させることができるようにする。	【知】各取引の意味とその種類について理解している。 【思】各取引から思考し適切に判断した記帳方法を用いることができる。また、各種帳簿を用いて，基本的な企業の財政状態及び経営成績を把握できている。 【態】練習問題に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	１８ ２４
３学期	全国経理学校協会簿記実務検定３級レベルの問題を解き、実践的な簿記の力を身につけさせる。	演習問題を解き、振り返りにより苦手を克服する力を身につけさせる。 これまでの学習を総合的に理解させ、達成体験も得られるようにする。	【知】演習問題を理解し，意味や要点を捉える技能を身に付けている。 【思】演習問題を正確に解き、さらに諸帳簿の作成を体系的に思考することができている。 【態】各種帳簿や資料を用いて，企業の財政状態及び経営成績を把握しようとしている。	○	○	○	１１ １２
			配　当　合　計　時　間				１０５